

# 第10章 免許・資格履修要件

## 免許・資格を取得するにあたって

この章では、本学で取得できる資格についてわかりやすく、またその資格の取得に必要な単位などについて説明されています。資格取得を希望する人は、資格の取得に必要な条件を満たすとともに、その専門性を高めるために常に学習に努め、資質の向上をはかるよう心がけてください。

自分の将来計画を念頭に置いて、どの資格の取得が必要であるか、どの資格の取得が自分の将来にとって有益であるのかを深く考えて、取得する資格を選択してください。

自分の将来の人生設計にとってどんな資格が必要なのかを深く検討してから資格の取得を進めるようにしてください。

### 1. 資格課程とは

教養教育科目や所属する学科の専門教育科目とは別に、免許・資格を取得するために必要な知識や技能等を、講義や実習・演習といった授業科目として開講しているのが資格課程です。本学には、資格課程として教職課程（幼稚園）、保育士課程等があります。資格課程が開講する免許・資格取得のための授業科目には、卒業するための要件とは異なる必修・選択の区分があり、単位修得方法にも決まりがあります。

なお、資格取得に必要な授業科目のかたまりを、ほかの専門科目と区別するために、課程とよぶ場合があります。

### 2. 履修における注意

免許・資格取得に必要な科目は相当広範にわたり、計画的に履修することが肝要です。

資格課程履修（以下「課程履修」という）に際しては、以下の点にも留意してください。

#### ① 通達・告示・通知・連絡

通達・告示・通知・連絡はすべて掲示にて行います。資格取得を希望する学生は、常に掲示板を確認し、大切なお知らせを見落とすことのないようにしてください。

#### ② 課程履修説明会・ガイダンスなど

説明会・ガイダンス等の欠席は認められません。やむを得ず出席できない場合（公欠相当）は、必ず説明会・ガイダンス開催日より前に、本人がクラス担任に直接申し出て許可を得るようにしてください。

#### ③ 諸手続き

(1) 手続きについては期限を厳守してください。

(2) 本人控の書類等は、大事に保管しておいてください。

(3) 納入した諸費（課程履修費・実習費・証明手数料等）については、原則として返還しません。

#### ④ 麻疹（はしか）感染予防について

「教育実習」「保育実習」を実施する学生は、麻疹の抗体検査（予防接種）を行う必要があります。入学時に対応していない場合は、麻疹の抗体検査（予防接種）を行ってください。

#### ⑤ その他

(1) 資格に関する手続きについては、クラス担任に相談してください。

(2) 教職課程を履修するには、教員になろうという強い意志があることが前提となります。

### 3. 教職課程

教職課程とは、教育職員免許法（以下「免許法」）に基づき教育職員免許状（以下「教員免許状」）を取得するための課程です。教員免許状を取得するためには、この課程で定められた所定の単位を修得し、都道府県教育委員会免許状授与申請をしなければなりません。

また、実際に公立幼稚園の教員に採用されるためには、地方自治体の行う教員採用試験に合格する必要があります。

#### 1 履修上の心構え

教職課程の履修を希望する学生は、以下の点に留意してください。

- (1) 教職課程は、実際に教職に就くことを志望する者が履修する課程です。教職に就く強い意志を持ち、幅広い資質能力と体力を養成してください。
- (2) 教職を目指す学生には、本学教職教育の伝統を引き継ぎ、全人教育を実施できる幅広い能力を持った教員となることを目標としてください。また、在学中は課程履修に留まらずボランティアなどの現場体験が望まれます。

#### 2 履修手続き（履修規則第 28 条）

教職課程の履修を希望する者は、1 年次 4 月初旬に開催の教職課程履修説明会に出席するとともに所定の手続きを行わなければなりません。教職課程履修に関するスケジュールの概略は次の表のとおりです。

##### （教職課程履修手続きに関するスケジュール）

##### 平成 28 年度入学者対象

時 期	（幼稚園教諭）
1 年次	課程履修の手続き ・ 学科が実施する教職課程履修説明会への出席が必要です。 ・ 学科が実施する教育実習履修説明会への出席が必要です。
2 年次	教育実習（必修） ・ 2 年次前期に 4 週間の教育実習を履修しなければなりません。 ・ 教育実習には履修要件があり、所定の単位を修得しなければ実習を履修することができません。実習前後に学科が実施するガイダンスを受講しなければなりません。 教員免許状授与申請手続きは、2 年次 12 月。 資格取得に必要な要件を充足できるかどうかを確認した後に手続きをしてください。
卒 業	教員免許状は、卒業式当日に配付します。

## 平成 27 年度入学者対象

時 期	(幼稚園教諭)
1 年次	課程履修の手続き ・ 学科が実施する教職課程履修説明会への出席が必要です。 ・ 学科が実施する教育実習履修説明会への出席が必要です。
2 年次	教育実習（後期）（必修） ・ 1 年次後期に 1 週間、2 年次前期に 3 週間の教育実習を履修しなければなりません。 ・ 教育実習には履修要件があり、所定の単位を修得しなければ実習を履修することができません。実習前後に学科が実施するガイダンスを受講しなければなりません。 教員免許状授与申請手続きは、2 年次 12 月。 資格取得に必要な要件を充足できるかどうかを確認した後に手続きをしてください。
卒 業	教員免許状は、卒業式当日に配付します。

### 3 免許状授与申請

前項の手続き等を終え、教職課程を修了すると教員免許状の授与申請をすることができます。免許状には二種免許状のほかに一種免許状がありますが、短期大学では二種免許状の取得となります。

#### ① 一括申請

一括申請とは、卒業と同時に教職に就くことが予定される学生に便宜をはかるため、大学が取りまとめて行う免許状の授与申請手続きです。都道府県教育委員会の指示により免許状の種類や在籍区分等によって一括申請が認められないことがあります。免許状授与申請に関する手続きは、2 年次 12 月頃に関係書類を配付するので指示に従ってください。

一括申請の場合、岐阜県の授与年月日は卒業式の日、授与権者は岐阜県教育委員会となります。なお、卒業後に免許状を焼失・水没・盗難・破損等により再発行される場合は、岐阜県教育委員会に申し出て指示を受けてください。

【注意】単なる紛失（公的証明が取得できない場合）では再発行できません。免許状授与証明書の交付を受けてください。

#### ② 個人申請

一括申請が認められない場合は、学生自身が居住する都道府県教育委員会に個人申請を行ってください。

### 4 免許状取得について

本学にて取得可能な幼稚園教諭二種免許状の課程修了に必要な要件は、下記のとおりです。

#### 〔課程修了に必要な要件〕

以下の(a)(b)のすべての要件を満たさなければなりません。

- (a) 基礎資格を満たすこと。
- (b) 法定単位数の修得については以下の各科目表を参照し、教職課程における必修・選択区分に注意して必要単位数を修得すること。

## 免許状の種類と基礎資格及び法定単位数

免許状の種類		幼稚園教諭二種免許状	
(a) 基礎資格		本学卒業の単位を満たすこと	
(b) 法定単位数	教職基礎科目	日本国憲法	2
		体育	2
		外国語コミュニケーション	2
		情報機器の操作	2
	教科に関する科目		4
	教職に関する科目		27
	介護等体験		不要

◆ 幼二種免を取得するには、次の①②の要件を満たすこと。

① 卒業要件を満たすこと。

② 次の(ア)(イ)の所要単位を修得すること。

(ア)「教養教育科目」の幼稚園教諭二種免許状にかかる科目 8 単位を修得すること。（「教職基礎科目」免許法施行規則第 66 条の 6 関係）。

(イ)「専門教育科目」の免許等必修単位欄に指定する単位を以下のとおり修得すること。

- ・「教科に関する科目」…幼稚園教諭二種免許状必修を満たして 4 単位以上
- ・「教職に関する科目」…幼稚園教諭二種免許状必修を満たして 27 単位以上

教職課程授業科目

【教職基礎科目】教育免許法六六条の六に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分		本学開講科目			
科目名	単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		
体育	2	スポーツ科学入門	1		
		スポーツ実践	1		
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	1		
		英語Ⅱ	1		
情報機器の操作	2	情報処理	2		
計	8	計	8		

【教科に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分		本学開講科目			
科目名	単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
国語	4	●国語		2	●より2単位 選択必修
音楽		幼児音楽Ⅰ	1		
		幼児音楽Ⅱ	1		
図画工作		●幼児美術		2	
体育		●幼児体育		2	
計	4	計	2	6	

【教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分等			本学開講科目			
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数		履修方法
				必修	選択	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教職論	2		
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	4	教育原理	2		「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」を含む。
			発達心理学	2		
	障害児保育			2		教育原理に含む
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法	12	保育課程論	2		
			保育内容の指導法・健康	1		
	保育内容の指導法・人間関係		1			
	保育内容の指導法・環境		1			
	保育内容の指導法・言葉		1			
	保育内容の指導法・表現Ⅰ		1			
	保育内容の指導法・表現Ⅱ		1			
	保育内容総論		2			
・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法と技術	2				
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	幼児理解	1		
教育実習		5	教育相談	1		
			教育実習指導	1		事前事後指導を含む
教育実習			教育実習	4		
教職実践演習		2	教職実践演習	2		
計		27	計	27	2	

#### 4. 保育士資格課程（平成 28・27 年度入学者対象）

(1) 保育士資格を取得するには、次の①②の要件を満たさなければなりません。

① 卒業の要件を満たすこと。

② 「教養教育科目」・「専門教育科目」資格等必修単位欄に指定する単位を以下のとおり修得すること。

(ア) 保育士教養科目

- ・ 教養科目の表に掲げられた科目のうちから 8 単位以上を修得すること。（ただし、体育に関する講義及び実技それぞれ 1 単位以上含むこと。）

(イ) 保育士の資格は、卒業要件を満たした上で、必修科目を履修し、選択必修科目の中から 9 単位以上選択必修（保育実習 2 単位及び保育実習指導 1 単位を含む。）。

※保育士に関連する授業科目について、他の大学等（保育士養成校）で履修した場合の単位認定は、学則第 28 条にかかわらず、30 単位を限度とする。

(ウ) 実習について

『指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について』（「保育実習実施基準」）の定めに従い、その修得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うために、児童に対する理解を通じて保育の理解と実践の関係について習熟させることを目的とする。

#### 保育士資格授業科目

##### 【教養科目】

児童福祉法施行規則に定める科目及び単位数				本学開講科目			
系列	教 科 目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単 位 数	
						必修	選択
教養科目	外国語、体育以外の科	不問	6 単位以上	幼児教育セミナー	演習		2
				数理	講義		2
				インクルーシブ	講義		2
				情報処理	演習		2
				人間行動と社会	講義		2
				教育・学校と社会	講義		2
				日本国憲法	講義		2
				現代の社会と情報行動	講義		2
				生きるを考える	講義		2
				キャリアデザインⅠ	演習		2
				キャリアデザインⅡ	演習		2
				コンソーシアム共同授業	講義		2
				建学の精神	講義		1
				プレゼンテーション	演習		2
				ホスピタリティワーク	演習		2
				英語Ⅰ	演習		1
	英語Ⅱ	演習		1			
体育		講義	1	スポーツ科学入門	講義	1	
		実技	1	スポーツ実践	実技	1	
合 計			8 単位以上	計		2	31

【必修科目】

児童福祉法施行規則に定める科目及び単位数				本学開講科目			
系列	教 科 目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単 位 数	
						必修	選択
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2	
	児童家庭福祉	講義	2	児童家庭福祉	講義	2	
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2	
	相談援助	演習	1	相談援助	演習	1	
	社会的養護	講義	2	社会的養護	講義	2	
	保育者論	講義	2	教職論	講義	2	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	講義	2	発達心理学	講義	2	
	保育の心理学Ⅱ	演習	1	保育の心理学	演習	1	
	子どもの保健Ⅰ	講義	4	子どもの保健Ⅰ	講義	4	
	子どもの保健Ⅱ	演習	1	子どもの保健Ⅱ	演習	1	
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2	
	家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2	
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	講義	2	保育課程論	講義	2	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2	
	保育内容演習	演習	5	保育内容の指導法・人間関係	演習	1	
				保育内容の指導法・言葉	演習	1	
				保育内容の指導法・環境	演習	1	
				保育内容の指導法・健康	演習	1	
				保育内容の指導法・表現Ⅰ	演習	1	
	保育内容の指導法・表現Ⅱ	演習	1				
	乳児保育	演習	2	乳児保育	演習	2	
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2	
社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容	演習	1		
保育相談支援	演習	1	保育相談支援	演習	1		
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	幼児音楽Ⅰ	演習	1	
				幼児美術	演習	2	
				幼児体育	演習	2	
				国語	演習	2	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ	実習	4	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2	
総合演習	保育実践演習	演習	2	教職実践演習	演習	2	
合 計			51 単位			56	0

## 【選択必修科目】

児童福祉法施行規則に定める科目及び単位数				本学開講科目					
系列	教 科 目	授業形態	単位数	授業科目	授業形態	単位数			
						必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		6 単 位 以 上						
保育の対象の理解に関する科目				幼児理解	講義		1		
				教育相談	講義		1		
				発達認知科学	講義		2		
				子ども人格心理学	講義		2		
				子ども医療学概論	講義		2		
				子ども医療（健康）	講義		2		
保育の内容・方法に関する科目									
保育の表現技術				幼児音楽Ⅱ	演習		1		
				子ども音楽	講義		2		
				子どもと音楽	講義		2		
				社会体育論	講義		2		
				スポーツ社会学	講義		2		
保育実習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ※1	実習		2		
				保育実習Ⅲ※1	実習		2		
	保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ※1	演習		1		
				保育実習指導Ⅲ※1	演習		1		
合 計			9 単位以上				25		

※1 実習と対応する実習指導をあわせて履修すること。

## 【保育士の申請手続き】

保育士資格取得に必要な単位を修得して卒業する者が、「保育士」となるには、登録事務処理センターに登録申請を行い、「保育士登録簿」に登録をうけなければなりません。本学を卒業しただけでは国家資格である保育士となる要件を有しますが、保育士として業務に就くことはできません。

- ・ 申請手続きは大学で一括して行います。大学での一括申請は、所定の期日内に手続きを確実に行ったものに対して行います。（所定の期日内に手続きが未完了であった場合、また単位不足等必要科目が習得できない場合は、個人で申請することになります。）
- ・ 申請に要する費用：登録料：4,200円 証明書代：200円（平成27年度実績）
- ・ 保育士証の交付は、卒業した年の5月下旬から6月上旬に登録申請書に記載した連絡先住所に、簡易書留郵便で郵送されます。
- ・ 保育士証の授与権者は、申請時の住民票住所のある都道府県知事です。



## 5. 各種資格課程

### ■ 1 レクリエーション・インストラクター資格課程

#### レクリエーション・インストラクター資格授業科目

系列区分	本学開講科目				備考
	科目名	授業形態	単位		
			必修	選択	
レクリエーション理論	レクリエーション論	講義	2		
レクリエーション実技	コミュニケーションワーク	演習	1		
	グループワークトレーニング	演習	1		
現場実習 (スタッフ参加)	教育実習	実習		4	1科目選択必修
	保育実習Ⅰ	実習		4	
	保育実習Ⅱ	実習		2	
	保育実習Ⅲ	実習		2	
	レクリエーション現場実習	実習		1	
現場実習 (事業参加)	2回以上参加		○		

※養成課程の認可を受けた授業科目について、本学が行う科目修了試験及び現場実習の単位履修をもって学内審査に合格したものとする。

### ■ 2 こども音楽療育士資格課程

#### こども音楽療育士資格授業科目

系列区分	指定科目名等	本学開講科目				備考
		科目名	授業形態	単位		
				必修	選択	
必修	こども音楽療育概論	こども音楽療育概論	講義	2		3科目4単位以上を修得すること
	こども音楽療育演習	こども音楽療育演習	演習	1		
	こども音楽療育実習	こども音楽療育実習	実習	1		
Ⅰ群	障害児及び心理	発達心理学	講義		2	4単位以上履修すること
		保育の心理学	講義		1	
		障害児保育	演習		2	
Ⅱ群	保健	子どもの保健Ⅰ	講義		4	2単位以上履修すること
		子どもの保健Ⅱ	講義		1	
Ⅲ群	音楽	子ども音楽	講義		2	4単位以上履修すること
		ソルフェージュ	演習		4	
		リトミック	演習		4	

### ■ 3 秘書士⑨資格課程

#### 秘書士⑨資格授業科目

系列 区分	指定科目名等	本学開講科目				備考
		科目名	授業形態	単位		
				必修	選択	
必修	秘書総論	オフィススタディ	講義・演習	2		2科目4単位以上を修得すること
	秘書実務	オフィス実務演習	演習	2		
I群	秘書知識・スキル	情報処理	演習	2		12単位以上を修得すること
II群	キャリア・教養分野	キャリアデザインⅠ	講義・演習	2		
		プレゼンテーション	講義・演習	2		
		人間行動と社会	講義	2		
		ホスピタリティワーク	講義・演習	2		
III群	総合的実践実務分野	幼児教育セミナー	演習	2		

### ■ 4 上級秘書士⑨（メディカル秘書）資格課程

#### 上級秘書士⑨（メディカル秘書）資格授業科目

系列 区分	指定科目名等	本学開講科目				備考
		科目名	授業形態	単位		
				必修	選択	
必修	秘書総論	オフィススタディ	講義・演習	2		3科目6単位以上を修得すること
	秘書実務	オフィス実務演習	演習	2		
	総合的実践実務	フィールドワーク	演習	2		
I群	秘書知識・スキル	情報処理	演習	2		18単位以上修得すること
II群	キャリア・教養分野	キャリアデザインⅠ	講義・演習		2	
		プレゼンテーション	講義・演習		2	
		人間行動と社会	講義		2	
		ホスピタリティワーク	講義・演習		2	
V群	メディカル秘書	医療事務総論	講義		2	
		医療秘書概論	講義		2	
		医療秘書実務	演習		2	
		診療報酬請求事務	講義		2	
		子ども医療学概論	講義		2	

## ■ 5 実践キャリア実務士資格課程

### 実践キャリア実務士資格授業科目

系列区分	指定科目名等	本学開講科目	授業形態	単位	備考
必修	実践キャリア考	キャリアデザインⅠ	講義・演習	2	2科目4単位以上を修得すること
	総合的実践実務	フィールドワーク	演習	2	
Ⅰ群	キャリア・教養分野	プレゼンテーション	講義・演習	2	12単位以上を修得すること
		人間行動と社会	講義	2	
		ホスピタリティワーク	講義・演習	2	
		キャリアデザインⅡ	演習	2	
		ビジネスマナー	講義	2	
Ⅱ群	総合的実践実務分野	幼児教育セミナー	演習	2	

## ■ 6 ピアヘルパー資格課程

### ピアヘルパー受験資格授業科目

本学開講科目			備考
科目名	単位		
	必修	選択	
発達心理学	2		
相談援助	1		
教育原理	2		
幼児理解	1		

## ■ 7 スポーツリーダー資格課程

### スポーツリーダー資格授業科目

本学開講科目			備考
科目名	単位		
	必修	選択	
スポーツ科学入門	1		
スポーツ社会学	2		
スポーツ技術論	2		
ウェイト&エアロビック・トレーニング	2		
スポーツマネジメント	2		
スポーツ心理学	2		

## ■ 8 競技別指導者資格課程

### 競技別指導者受験資格授業科目

本学開講科目			備考
科目名	単位		
	必修	選択	
スポーツ科学入門	1		
スポーツ社会学	2		
スポーツ技術論	2		
ウェイト&エアロビック・トレーニング	2		
スポーツマネジメント	2		
スポーツ心理学	2		

1. 上記必修科目の履修に加えて、各競技団体が開催する専門講習会に参加すること。